

京都教区時報

第100号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

京都教区時報 第100号 記念座談会



わたしと平和 ⑤

野を慕う 一茶の思い 祈りにて
野に咲ける 花一輪の 平和かな

村上透磨



て作りの平和を造る人々がいる。
 めを凝らし、小さき花の叫びを見つめ
 こころをすませて、清流に聴く人の耳は
 りこうな虫達の語らいを心静かに眺め
 のの獣の切磋琢磨を微笑んで祝福する。
 いのる心は、自然をやさしくなせる風だ。
 の山に生きるこの調和こそ平和の徴。
 へい和とは、秩序の静けさだと人の言う
 和解のしるしは、ただ戦いの拒否ではない。
 平和は神と人と自然の調和であり和解だ。
 念ずれば平和、願えば人々の事。
 記すれば正義、憶えば人の愛。
 うつくしきは、謙虚なる思い、振舞い。
 ごう慢なる人の知恵は世界を破滅に招く
 百年の未来、地球の生命は死に絶え
 報われる事のない塵墟と化するか。
 時、まさに「改心」を迫る音あり。

京の大路に平和を祈る童などの声がこだまする。
 都は戦争を知らぬ街とほこらしげに語る。
 教えてほしい、彼らに戦いの醜さを
 区別より、差別する心が人を汚す事を。
 のにある「生命」を踏みにじり
 あいする心が、山の小石に及ばぬ時
 ゆえなく沼を「捨て物」たちで濁す時
 みにくきと、毛虫の体を砕く時
 とうとき人の心も死んでいく。
 共に生きるなら、友の痛みも解ってこよう
 にこやかなる万物へのまなざしは
 平和へのいのりである。



'85京都教区「平和への歩み」

大塚 喜直

一九八二年から日本司教団によって、元旦の「平和の日」が、教皇ヨハネ・パウロ2世の広島での平和スピーチを機に、8月に移行され「平和旬間」が設けられました。今年も4回目となり、私達京都教区は昨年引き続き、平和について学び、話し、祈る「平和への歩み」の集いを計画致しました。

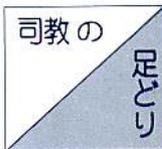
昨年は、「京都教区ビジョン」の「一人ひとりがそれぞれ自分のおかれている場で、そこに働いておられるキリストを見い出そう」という姿勢で、「平和」を「人権」と結びつけ、さまざまな形で人権を脅かされ、弱い立場におかれている人々を知り、関わりをもち、支え合う中で、真の平和への道を行なうべく、数回の学習会が行なわれました。今年も、特に平和の為に働くことが、社会にひいては世界の動きに目覚めると同時に、日常生活の中でいろいろな視点から平和と人権の結びつきを考え、回心し、行動していくことにつながるという基本テーマで、昨年取

り上げることができなかった問題の学習会が計画されています。

8月11日の集いについては、この日の主日のミサを、京都教区平和祈願のミサとし、教区中で共に祈るとともに、午後各地区で集会和平和行進が行なわれるよう計画しています。

又、各地区でも「平和と人権」に対する取り組みが始まっています。三重・奈良の「正義と平和協議会」の活動も私たちの「平和への歩み」です。京都での集いと共に各地区の活動にも積極的に参加して下さい。

（「平和の歩み」担当司教）



- 4月
- 1日 長浜保育園職員一同来訪。マリスト会管区長・地区長来訪。
 - 2日 U師来訪（Kセンターについて報告）。G師来訪（インド視察報告）。
 - 3日 世連日本宗教委代表（諸宗教）来訪（Vの長官招聘の件）バチカンと電話。
 - 4日 右世連代表関係者に緊急書面聖木曜日・主の晩さんミサ
 - 5日 聖金曜日。十字架の道行。主の受難の式典。
 - 6日 幼きイエズス会両院長来訪 総責任役員会。本多氏ら来訪 主の復活徹夜祭。
 - 7日(H) 主の復活祭。パーティー。修道女派遣ミサ（ヌヴェール会本部修道会）
 - 8日 親族N来訪。Y師来訪。平和の歩み学習準備会
 - 9日 大谷大学見学。世連宗教委主要関係者と緊急連絡
 - 10日 MM管区長と面談。W氏と面談 種々の方々と面談
 - 11日 信愛幼代表来訪。N師と宣教師牧について。M師来訪
 - 12日 宣教師牧常任委
 - 13日 故ヨゼフ・西本喜代次氏葬儀ミサ（綾部・西本師尊父）。CSR管区長と面談
 - 14日(H) K氏（墓地委）来訪。M師来訪
 - 15日 京南司祭月例会（長岡）

- 16日 緊急三役会。福井出張
- 17日 曹洞宗大本山永平寺前貫首故 奏慈玉禪師の本葬に出席
- 18日 同第77世新貫首丹羽廉芳禪師の晋山式に出席。東京神学院司教委



お父様の思い出

「父はとてもまじめで几帳面で融通のきかない人でした。けれど、親せきに何かあれば一番に飛んで行ったり、毎週金曜日は浮浪者のためにお弁当を用意したり、人の世話をよくしました。」

「よく学校に参観に来るんです。それがいやでね。正直さやうそに對してはとても厳しかった。よほどの確信がなかったらそれはできないでしょうし、自分でも実行していませんでしたから。」

私が大神学校に行っている時の夏休み、勉強しようというラテン語の本をどっさりかかえて帰ってきた。父も語学が好きでしたからね。その時、自分も読めない本を見て息子の成長を感じたんですね。それ以来あまり怒らなくなりました。」

金祝おめでとうございます



京都教区の戦後の発展は両師に負うところが多く、特にマキロップ師の管区長時代に、現在ある教会、施設、学校の殆んどが、師の尽力により創立されていった。

ウィツテ神父

マキロップ師挨拶の言葉から

50年間の司祭生活
どこの教会でも楽しいものでした。悲しみは絶対に、司祭生活から生じたものではありません。

お二人の心は、しっかりと結ばれた二本の花の様。言うなればまた、二つの枝に分かれた一本の木の様。ではお伝えしましょう。

同じ年、二人は生まれました。

今から74年前、

同じ年、二人は神の祭壇に立ちました。

今から50年前、

だから今日、祝っています。

同じ時、二人は日本の地に立ちました。

今から50年前、

同じ年、戦争は二人を本国に呼び戻しました。

一九四二年六月、

それから少し変わります。

でも今日、お二人そろって

金祝です。

お好きな言葉、お好きな聖句

二人の心は、「ここでもここに、

「神の恵みをとこしえに歌う」

「私の弱さを助けて下さる神に感謝する」

ああ二人は同じ思い、

これこそ、神に向ってこたえます

る、主への思いです。

日本への慕い

一番嬉しかった事は

「日本に居る事。」

「はい同じ事ね」

一番つらかった事は

「日本を離れた時の事」

「日本語がむずかしくて…」

母が死んだ時。

そして日本を去った時」

あ、日本の思い切々と、

故郷は遠くにありて慕うものと詩人の歌った、故郷日本。

若き司祭達へのメッセージ

「神に選ばれた事を大事に、常に感謝して。

布教にがんばって下さい」

「私も同じ、布教にがんばって

お二人の祈りです。

実践からの祈りです。

あ、もう一つ信徒達に、

「信仰を大事にし、

信者でない人の模範に」

「信仰を大事にし、信仰の使徒に」

あ、一つのこだま、50年のこだま

一つの心、一つの願い同じ歩み

この一つのこだまが、

この教区の隅々にまでこたまして

いる事を

感謝をこめて、祈りをこめて……。

今日、この教区があるのは、

このお二人のお力による事が

多いのです。

教会の片隅の石が感謝しています。

修道院の庭の小さな花が感謝して

います。

施設のこおろぎが感謝の歌を歌い

ます。

今日ここにあるのは、この方々の

おかげだと。

両師略歴

マキロップ師

10年12月11日 誕生
35年6月16日 叙階。8月来日。日本語の勉強(大津市)

37年11月 西神教会主任

42年6月 西神教会主任

43年11月 再来日。ララ経済活動

46年6月 (於・東京)のため受

48年11月 日本管区長

48年11月 高野教会主任

51年11月 司教総代理

54年4月 福国

58年7月 ロスアンゼルス・リトル

68年7月 東京で司牧

74年7月 松坂教会主任

10年6月13日 誕生

35年6月16日 叙階。8月マキロップ師と共に来日。日本語の勉強

42年11月 彦根教会主任

43年6月 福国

47年11月 再来日。彦根主任

47年11月 伏見教会主任

55年11月 メリノール北アジア管区

57年11月 北海道管区長代理

59年11月 日本管区長

62年11月 本部、総長顧問

67年11月 ホリビア宣教

76年11月 ロスの日本人教会で司牧



京都教区時報 第100号 記念座談会

広報の のリレーで 時報も100号



これからも 長ーい おつきあいを

「うちも出そうか」で
始まった第一号

松本 昭和37年に出された創刊号は岡神父さんが始められたのですが、当時の様子をお聞かせ下さい。岡 古屋司教様と話しているうち、教区時報っていうのはどこでも出しているから、うちも出そうかという事が始まりです。そうなるとうちが必要だし、相談した結果、皆んなに買ってもらえと。

松本 (創刊号を見ながら)そう言えば一部10円と書いてありますね。岡 そしたらね、ほとんどの教会が買う人がないって言うんだよ。うちは、いりませんなんて断わられたりしてね。廃刊になったのは



昭和37年発行の創刊号

場所 カトリック会館8F
司会 松本三朗師

あゆみ

—責任者・スタッフ—

第1号	1962年(昭和37年)6月1日発行 (毎月1回 A4版4ページ) 編集責任者 岡 淑人師 西野 猛生師
32号	1965年(昭和40年)1月20日発行
休刊	
33号	? 故平間 三郎師 アカソ師
48号	? 西野 猛生師
休刊	
49号	1977年(昭和52年)6月1日発行 (隔月発行 B5版8~18ページ) 編集責任者 村上 透磨師 中島喜代一氏・大原正義氏 Sr.米屋・Sr.小川
61号	参加 飯尾 悦子さん
70号	" 瓜生 和彦氏
80号	" 高見 紀久子さん
91号	" 藤井 陽子さん
95号	1985年(昭和60年)1月1日発行 (毎月1回 B5版8ページ)
99号	参加 松本 三朗師

資金繰りと原稿が集まらなかった事だったと思います。

松本 それからしばらく休刊になって、平間神父さん、アカソ神父さんが引き継いでその後、西野神父さんか。

西野 そう、大きい版でね。各教

会へ原稿の依頼を絶えず出したのですがなかなか集まらないので、あっちこちの教会を廻りました。

松本 その辺のが残っていないのですね。33号から48号までが無いんですよ。

西野 当時、人に出来るだけ出会うって話を聞き、それが無い所はお





内部対話を先ず願つて
 一 教区時報の再刊に願つて
 田中健一

昭和52年発行の再刊第1号

昭和52年発行の再刊第1号



中島 高見 大原 Fr.西野 瓜生
 Fr.松本 Fr.岡 Fr.齋木 Fr.齋木
 藤井 Fr.村上(左) Sr.米屋 Fr.村上(右)

西野 司祭評報告が
 始めていいなと見てま
 す。99号には宣教科牧
 評議会の事が書かれて
 いますが、全体的に活
 字も大きくなって、と
 もわかりやすくなつ
 たのではないかとこの
 気がします。カットも
 面白いですね。
 米屋 いくら良い記事
 を書いても読まれな
 かったら意味がないから
 読みやすいという事は

知らせを控えて帰り、あとで電話
 で連絡を取るとか、一人でよくや
 っていましたね。どこかに保存し
 てないかな？西院教会とか。



たてと横のつながりが
 ほしかつた再刊49号

松本 そして、B5版の再刊第一
 号は52年6月1日発行で、田中司
 教様が51年10月に京都に来られて
 半年後ですね。
 司教 そうです。広報という事が
 パチカン公会議で最初に取り上げ
 られて、教区でも時報復刊の話が
 出たのです。あの頃、私は来たば
 かりで何もわからないものですか
 ら、ただ上から下への連絡、通達
 だけではなく、皆一緒につながり
 を密にしてゆく事ができる手段と
 しての広報を育てていきたいと思
 っていました。そこで、教理セン
 ターにお願いしたのです。
 中島 再刊の第一号から、編集長
 をおだてあげ、まつりあげて大き
 わぎしました。何んでも言える雰
 囲気にしようという事で楽しかつ

たですね。
 大原 どんな記事を書いても、神
 父様とシスターがおられるし、あ
 かんかったらあかんって言わはる
 やろと思つて何でもかんでもとい
 う感じですね。
 中島 最初の頃にね、シスターに
 言われたんです。ずっと続けたい
 から、途中で辞めたい人はここで
 帰って下さいと。
 全 厳しいねー！（笑）
 米屋 あの頃は全員が一人前の仕
 事を済ませて、時報作りは夜だけ
 でやってたんです。ひと仕事の後

で皆しんどかったと思います。
 松本 その後、瓜生君が一年位一
 人で必死になってやってたね。
 米屋 徹夜してやってくれたりね。
 瓜生 あの時は頂度、ビジョン作
 りの頃でした。
 大原 あの辺で教区時報が復刊さ
 れていたという事は大きい意味が
 ありました。
 読んでほしいのと
 模様替え

すごく大切な事です。

大原 量的にも、丁度適当ですね。

中島 何年か一度は時代の必要をとりえるため、思い切ったスタイルを変えた方がいいですね。それと、毎月発行という事でニュース性の方に重点が移ると思うのですが、かえって雑誌に近くなっていますね。

西野 小教区のニュースはメモでいいと思うのですよ。

藤井 私の感じとしては教区自体も時報を広報として、意識して使ってほしいなと思いますね。

松本 司教様が望んでらっしゃる事は？

司教 今の時点では上の方がどういふふうに通じていこうとしているのか浸透させていく事が必要ではないかと思うのです。

中島 今、小教区にいて感じるのは、日本のカトリックの方向とか方針を知っておきたいという気がします。概念的でもいいし、日本のカトリックは今こっちを探しているんだとかがやっぱりほしいなと思いますね。

村上下 復刊から、教区として何をやっているかという事を知らせる義務と記録として残すという二つの使命を担わされてきたんです。



米屋 皆にわかりやすく伝えるという事と記録として残すという事は一緒になりませんか。議事録や数字だけのせるんじゃないかと、本当に読む人の立場になって編集部自体のとらえ方で取材し伝えていくというのが時報の役目だと思うのです。

松本 中央の方針なり教区の動きを伝える時に、皆がよくわかって読みたくなるように伝えなかつたら意味がないわけですから。

これからは？
みんなの時報に
なるために

松本 これからの時報に対して、大原 難しいと思いますけれど、人間臭さというか、足で歩いて取材をする、その人の味が出た記事を望みたいですね。

米屋 言いにくい事や批判もたまには出してゆく、反骨の精神があるものも載せたいです。

大原 常に何かの方法で小教区の声を求める、読者の反応を集める手段も必要ですね。

中島 将来、ファックスで各教会を結ぶとか、各地の記事がバランスよく集まるシステムが必要だと思いますよ。

村上下 とにかく、皆様、創刊号から御苦労様でした。おかげ様で100号まで何んとか達しました。これからも御協力というか、みんなで時報を支えて下さいますようお願い致します。

探しています

時報の第33号、48号までが教区に全く保存されておりません。教区の歴史をたどる重要なものではないかと持っておられませんか？ その一部でも結構ですので保存されている方は編集部までぜひご連絡下さい。



和洋紙卸

(株)都産紙

京都市中京区三条通高小路東入
〒604 ☎(075)221-3233(代表)

美しい印刷

(株)からふね屋

京都市左京区東山通仁王門下ル
〒606 ☎(075)761-1166(代表)

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀
貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎(075)312-7829

＝折りのこもった素朴な味＝
送ってよるこばれる

修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒
(純粋マスカット)
和洋酒

タキノ

〒604
京都市中京区錦小路通丸丸東入
TEL (221)0976-7

タイ国(ウボン教区)の

貧しい人々と共に!!

ヌヴェール愛徳及び
キリスト教的教育修道女会

ヌヴェール会日本管区では、今
回初めて海外に五名の修道女を派
遣。4月7日復活祭の日に京都・
本部修道院にて派遣式が行われた。
修道会では、第二バチカン公会
議後、創立者の精神にしたがって、
修道生活の見直しと刷新に努めて
こられた。しかし、アジアの一員
としてアジアの貧しい人々の中で、
より深いつながりをもって生きた
いと望まれ、この度タイ国で最も
貧しいスリン県(ウボン教区)で、
農村の人々と共に生活しながら、
特に女性(女性の地位が低く手に
職が無い)と子供たちのために奉
仕と活動をされることになった。

また、六年近く続けてこられたカ
ンボジア難民救済会の活動も継続
していきたくと願っておられる。
現地は、国境に近い村のため、
ベトナム軍の攻撃から逃れてきた
20万人ものカンボジア難民のキャ
ンプがあり、国境警備のための軍
用車の行き交う緊迫した状況下に
ある。

シスター方の健康とよき御活躍
ができますよう、お祈り下さい。

カトリック・スカウトとは?!

第5回カトリック・スカウト
宗教トレニング・キャンプ

GS 25 団リーダー 東 朝子

3月29日(土)～31日、西陣教会青年
会館で、カトリック・ボーイスカ
ウト、ガールスカウトの宗教トレ
ーニングキャンプが行われた。

新中学二年のスカウト34名が、
CBS指導司祭の岡神父らより、
キリストの生涯、ミサ、聖書、祈
りについて学んだ。

又、新しい試みとして、高校生
スカウトは「カトリック・スカウ
トとして何をすべきか」というテ
ーマで話し合いを持った。今まで
何気なく活動してきたスカウト達
に、今後意義ある活動をしていく
助けとなった事であろう。



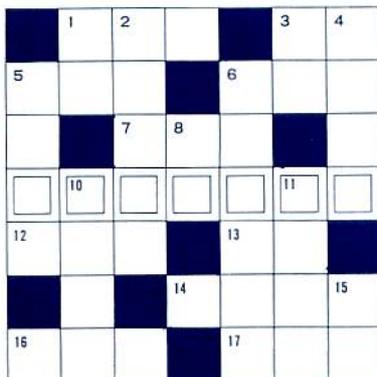
タテのかぎ

- 1 キリストは○○を打ちこわし、2
- つのものを1つにした(エフェソ2)
- 2 イエズスは、シモンのしゅうとめ
- の○○○○を治された。
- (マルコ1)
- 3 6日目に神は家畜や○○ものをつ
- くられた(創世紀1)
- 4 見よ 神の○○○○を
- (ヨハネ1)
- 5 幸いなるかなシモン○○○○
- (マタイ16)
- 6 それは砂○○○○○のです
- (詩編139)
- 8 ○○○花を見よ(マタイ6)
- 10 ○○○○がいっしょにいる間は
- 断食しないのです。(マルコ2)
- 11 マatteアは○○○○がよかったの
- だと思いませんか。(使徒行1)
- 15 私はどうの○○○、あなたがた
- は枝(ヨハネ15)

ヨコのかぎ

- 1 イエズスは十字架の上で○○
- を訴えられた(ヨハネ19)
- 3 東の博士たちが宝物を入れて
- 来たのは?(マタイ2)
- 5 言葉の混乱の原因となった町
- の名は?(創世紀11)
- 6 昔、聖書を書くのに用いら
- れた(紙の祖先さま)
- 7 ○○○○のときは隠れてしな
- さい(マタイ6)
- 12 悪霊は○○○の仲間をつれて
- 帰ってくる(ルカ11)
- 13 アベルはエノスの○○○である
- (創世紀4)
- 14 主は世界の基を○○○○の上
- にすえる(詩24)
- 16 イスラエルの○○○○のもの
- (エレミア31)
- 17 断食するときはこんな顔をし
- てはならない(マタイ6)

聖書クロスワードパズル



答え

☆ 答えをハガキでお送り下さい。正
解者の中から5名の方に記念品を
プレゼントいたします。住所、名前、
電話、年齢、教会をかいて6月末日
までに「編集部」宛お送り下さい。
解答は8月号に掲載。
〒606 京都市左京区仁王門通り新高
倉東入ル京都カトリック教理センター

お知らせ

▼教区スケジュール

- 6月
- 2日(日)教区修女連総会。
 - 4日 司祭評常任委。
 - 9日(日)新潟新司教佐藤敬一師OFM叙階。
(ウイッテ師司祭金祝・上野)
 - 16日(日)九条堅信ミサ。
広島新司教三末篤実師叙階。
 - 17日 22日 司教協総会。
 - 22日 23日 教区宣教司牧評合宿。

▼京都教区中学生・広島巡礼について

日時 8月5日(月)〜7日(水) 2泊3日
詳しい事は各小教区へおたずね下さい。
又リーダーも募っています。

団長 田中健一司教
担当司祭 大塚喜直師
主催 京都教区青少年委員会



銀祝
おめでとございます。

ピーター・ウィックス師
(マリスト会・奈良)
アンドレス・ドメニヨ師
(エスコラビオス会・四日市海星)

修道者・修道士・修道女の方の賀額・金祝、
銀祝の方にも心からお祝い申し上げます。

▼第21回召命錬成会

対象 青年男女
日時 6月15日(土)夕〜16日(日)夕
場所 宮津暁星幼稚園
〒629-21 宮津市宮本町470 (向い教会)
☎077222(2)2216 教会 2-3127
会費 三,〇〇〇円
講師 信徒、司祭、神学生、シスター
申込先 Sr.リディア菊地
〒606 京都市左京区下鴨西高木町12
ノートルダム修道院
☎075(721)8964
主催 京都教区召命促進委員会

▼CBSカトリック・スカウト指導フォーラム開催

日時 6月8日(土)夕〜9日(日)
場所 奈良教会
対象 BS・GSのリーダー
テーマ 私のスカウト生活
「キリストの道とスカウティング」

▼日本人26聖人巡礼「長崎への道」

日時 7月7日(日) (第15回)
行程 兵庫県竜野(相生教会)
→国鉄坂越駅16km
問合せ先 京都地区は聖母学院 三牧先生まで
☎0720(31)1381

1985年 京都教区 「平和への歩み」の集い 基本テーマ「人権と平和」



テーマ	講師又は担当	備考
6/9 (日) 外登法改正要求京滋集会	外登法問題にとりくむ京滋キリスト者連絡会主催	京都労働総合会館 2:30~5:00PM
6/16 (日) <特別講演> ヒロシマを語る 一被爆40年目のあかし	広島織町教会信徒 木村千代子氏	京都カトリック会館 2:00~4:00PM
6/18 (火) "	"	" 10:00~12:00AM
7/4 (日) アジア諸国と日本一せまれる回心	元アジア教会協議局事務局長 寺田弘	" 2:00~4:00PM
8/11 (日) (午前) 各小教区での平和祈願ミサ (午後) 各地区での講演会と平和行進	(詳細未定)	
9/8 (日) 難民定住問題と今後の課題	御所ベトナム難民センター カーター師	京都カトリック会館 2:00~4:00PM

★8月11日の集いについては、おって御案内致します。

主催「平和への歩み」実行委員会 (司祭評議会、修道女連盟、信徒協議会、諸活動)



◆四月末から、編集部のお手伝いをしていきます。紙面を通じて教区の皆さまと触れあえたらと願っています。(たくさん投稿してくださいね)。さつきが咲いて、やがて菫の時期になります。この六月号が皆さまの手もとに届く頃には何が咲いているのでしょうか。時報を花束のつもりで送りたいです。
(三)

京都教区結婚互助会

ばらの集い

日時 9月23日(秋分の日)
会費 二,〇〇〇円(昼食代含む)
この集いは結婚を希望する方々の集いで、結婚講座を中心にして互いに知り合う場です。
参加御希望の方は、小教区の世話係または直接互助会事務局へ、文書でお申込み下さい。

〒606 京都市左京区下鴨東森ヶ前町7
高野カトリック教会京都結婚互助会宛